

編集手帳



本稿を書いている現在、夏も盛りである。今年は6月の梅雨明けから猛暑日を記録したが、ここ数年毎年最高気温の記録を更新し続けているため、もう驚かなくなった。温暖化による異常気象は災害の特性も変え、われわれ日本人にも日常生活レベルでさまざまな影響が出ていると実感するようになった。

COVID-19のパンデミックが始まって早5年、いまだCOVID-19の根絶には至らないが、「with コロナ」のスローガンどおり、すっかり定着した感がある(とはいえ院内感染は厄介な問題であることには変わらないが)。COVID-19が落ち着き、われわれの生活も元通りになるかと期待していたが、残念ながらすべて元通りとはいかないようである。マスクの着用も必須ではなくなったが、公共交通機関のなかでは着用している方を多くみし、先日私の勤める病院でも来院者の院内でのマスク着用が必要でなくなったが、われわれ医療従事者が病院内でマスクを外す日はこないだろうと個人的には感じている。パンデミックを経験し、多くの医療機関で感染クラスターが発生し、患者診療に支障をきたしただけではなく業務全体が停滞したことを思うと、予防を継続しない理由が思い当たらないのが現状である。

この5年間、感染症のみならず、全世界で戦争や人道危機、自然災害と負の連鎖が続いている。COVID-19を克服するのにあたり、大いに助けられたワクチンに対しても最近では懐疑的な論調が増えてきており、これまで科学的根拠に基づいて正しいとされてきた情報に対しても批判的な意見が散見されるようになった。医療を取り巻く環境や、多くの医療機関の経営が厳しく、安心して働ける環境を維持することに苦慮している。これまで当たり前と思っていた医療が崩壊するかもしれないという不安は非常にストレスではあるが、既存のシステムを時代に則した新しいシステムに移行するチャンスでもある。まずは自分の周囲の環境、専門分野から取り組んでいきたい。今回の特集では血液診療がテーマであるが、私にも何らかの教示を与えてくれる、そんな一冊である。

牧 尚孝

臨床雑誌 内科 第136巻4号(第820冊) 2025年10月1日発行

監修: 杉本恒明 黒川 清 矢崎義雄 木村 哲 小俣政男 宮坂信之 永井良三
編集委員会: 神田善伸(委員長) 立石知也 牧 尚孝 岡本 耕 辻本哲郎

編集兼発行者: 東京都文京区本郷三丁目42番6号 小立健太
印刷所: 東京都江東区亀戸七丁目2番12号 三報社印刷株式会社
装丁: 渡邊真介

発行所
株式会社 南江堂

〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目42番6号
出版(「内科」編集室直通) Tel: 03-3811-9984 Fax: 03-3811-8660
営業(販売1課/卸) Tel: 03-3811-7239 Fax: 03-3811-7230
<https://www.nankodo.co.jp/>

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、株式会社南江堂が保有します。

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(Tel: 03-5244-5088, Fax: 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

図書館等のご利用にかかわる指針は弊社ホームページ(弊社著作物の利用について <https://www.nankodo.co.jp/pages/crp.aspx>)からご確認ください。

広告申込所 〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル6階 株式会社文京メディカル(Tel: 03-3817-8036)